

2015年3月期 第3四半期 決算概要

テルモ株式会社

上席執行役員 IR・広報室担当

北畠 一明

2015年2月3日

決算ハイライト

全社

- 薬価・公定価改定の影響を吸収し、増収増益を確保
- Q3は国内売上が増加

心臓血管

- 海外カテーテル・ニューロが継続して二桁伸長
- 国内はQ3にカテーテルを中心に伸長し、減収幅を縮小
- Ultimaster(新DES)は順調に拡大中

ホスピタル

- Q3は、DMヘルスケアやD&D(ドラッグ&デバイス)の売上増
- ポートフォリオミックスの改善により事業利益率が向上

血液

- 市場環境の更なる悪化に備え、コストコントロール強化
- 血液自動製剤システムやアフェレシス治療が海外で継続伸長

增收増益

(億円)

	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減率	為替除く
売上高	3,453	3,632	+5%	+1%
粗利益	1,787 (51.7%)	1,907 (52.5%)	+7%	+2%
一般管理費	1,080 (31.2%)	1,169 (32.1%)	+8%	
開発費	224 (6.5%)	209 (5.8%)	-7%	
営業利益	483 (14.0%)	529 (14.6%)	+10%	+5%
(のれん等償却除く)	604 (17.5%)	658 (18.1%)	+9%	+4%
経常利益	499 (14.5%)	587 (16.2%)	+18%	
純利益	369 (10.7%)	334 (9.2%)	-9%	

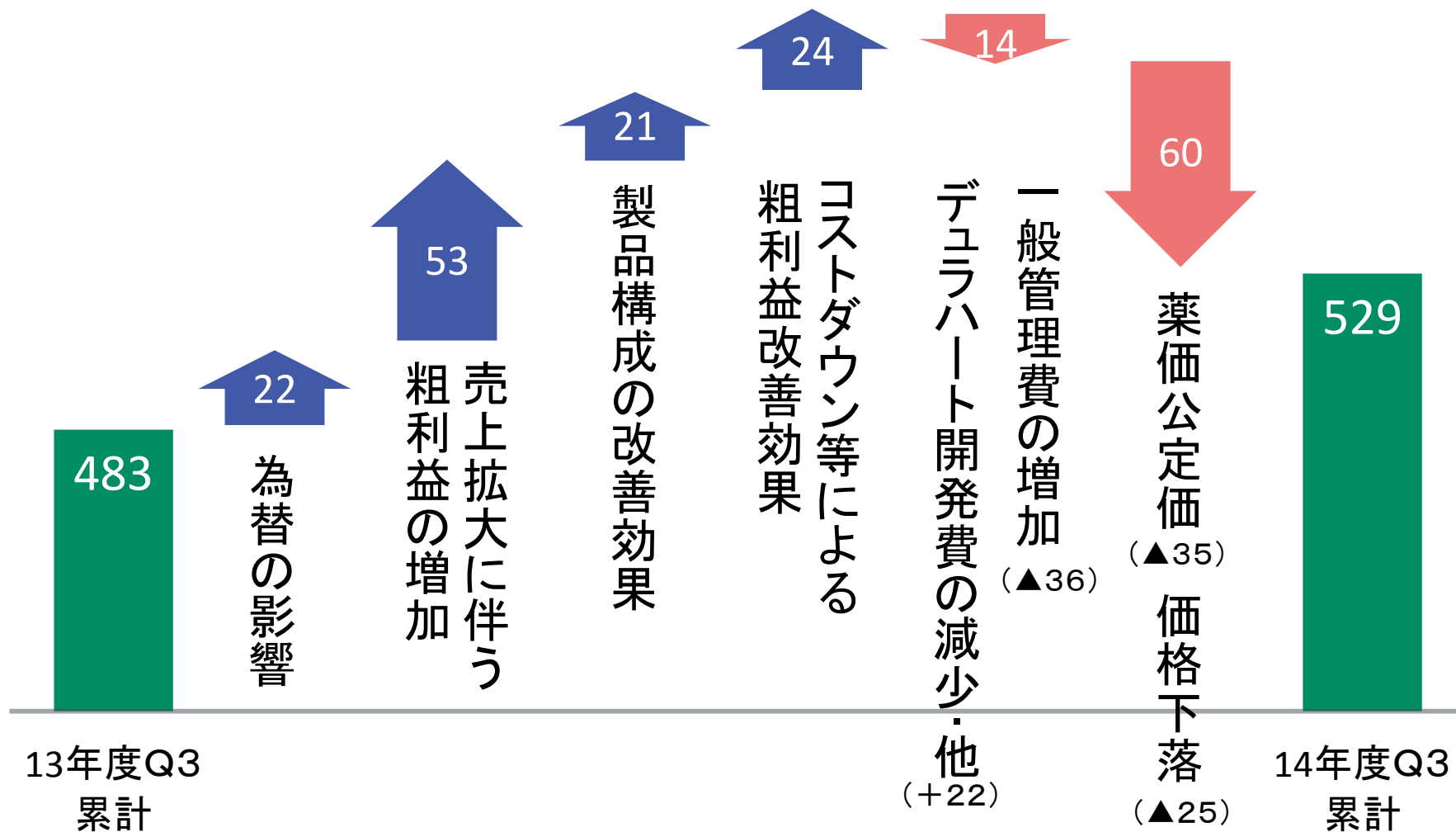
期中平均レート

US\$ 99円
EUR 132円

107円
140円

営業利益増減分析

(億円)



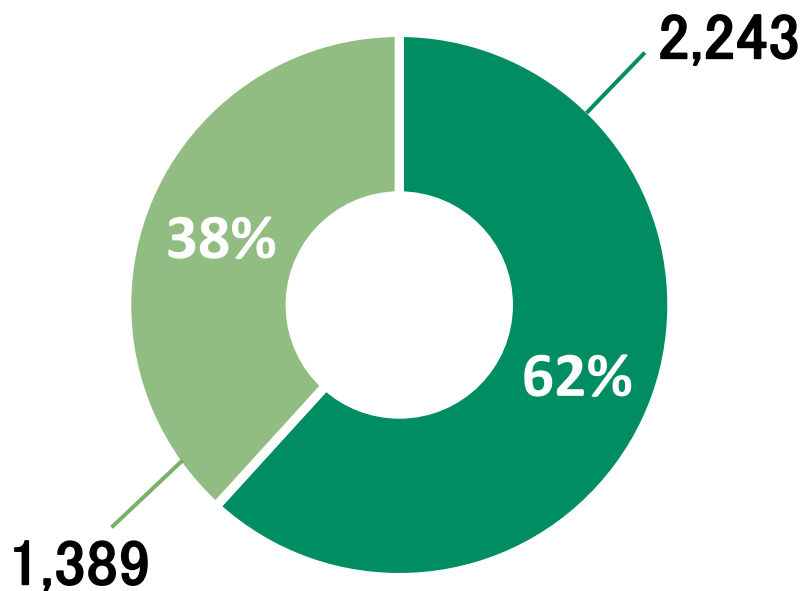
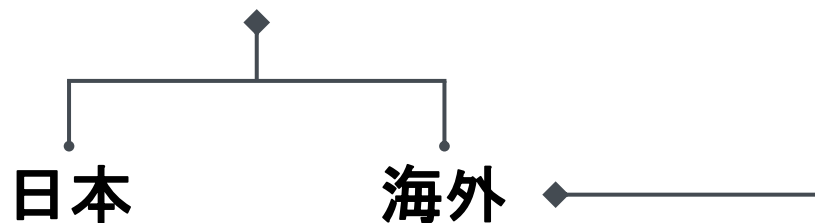
地域別売上高

(億円)

連結: +5% (+1%)

13年度 Q3累計 14年度 Q3累計

()内は為替影響除く



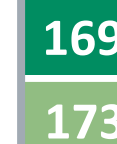
欧州 +12% (+5%)



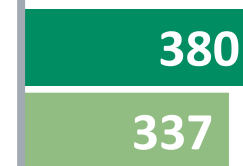
米州 +11% (+4%)



中国 -2% (-8%)



アジア他 +13% (+7%)



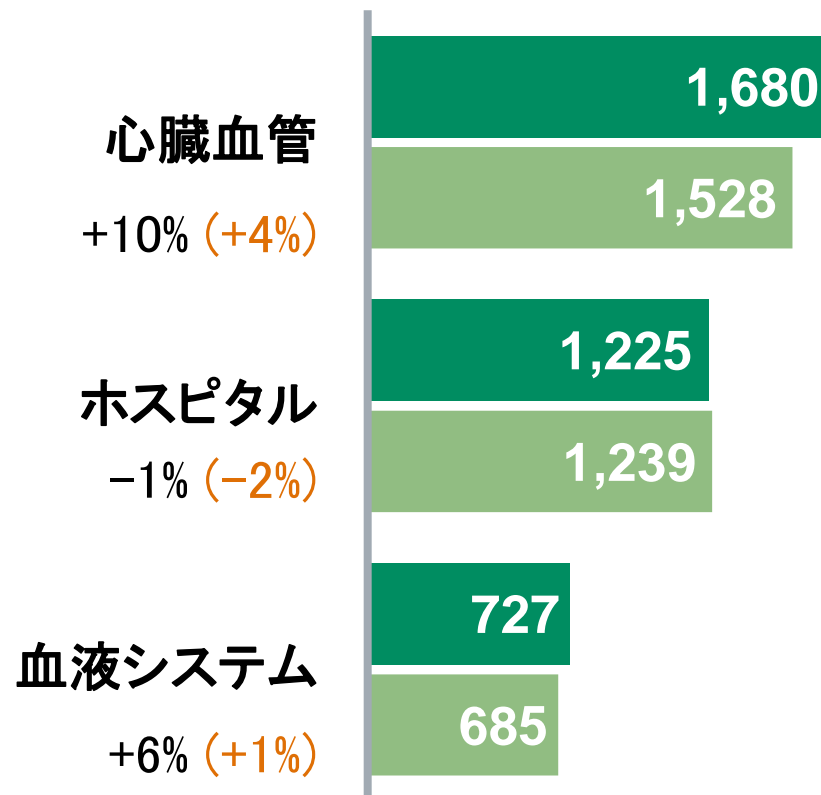
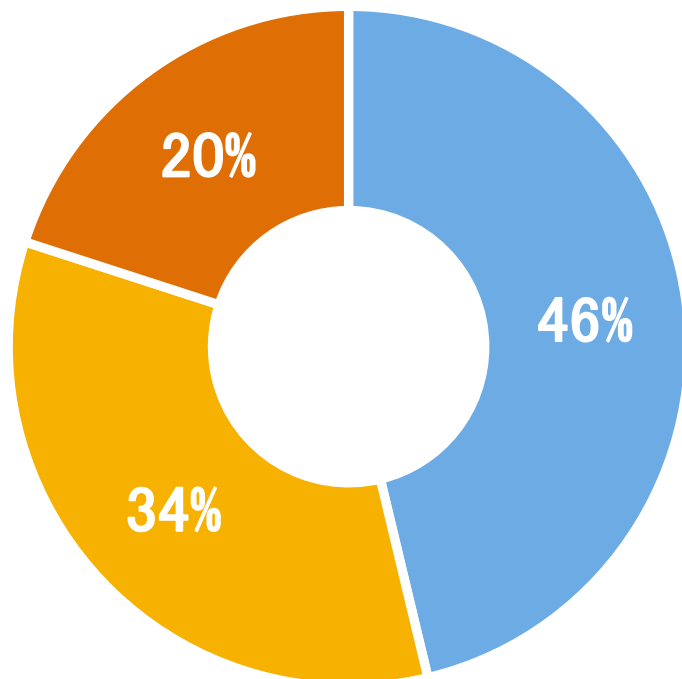
カンパニー別売上高

(億円)

- 心臓血管
- ホスピタル
- 血液システム

13年度 Q3累計 14年度 Q3累計

()内は為替影響除く



カンパニー別事業利益

(億円)

		13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減率	為替除く
事業利益	心臓血管	320 (21%)	341 (20%)	+6%	-3%
	ホスピタル	162 (13%)	165 (13%)	+2%	+1%
	血液システム	138 (20%)	142 (20%)	+3%	+1%
その他※		-16	10	-	-
営業利益 (のれん等償却除く)		604 (17%)	658 (18%)	+9%	+4%

※ その他：カンパニーに直接関連しない項目
13年度(デュラハート開発費等)、14年度(本社部門費削減効果等)

心臓血管カンパニー：増収増益を達成

(億円)

	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減率	為替除く
売上高	1,528	1,680	+10%	+4%
事業利益(率)	320 (21%)	341 (20%)	+6%	-3%

<売上面>

- 海外カテーテルやニューロ製品(ステント等)の売上伸長 +125億
- 北米・アジアを中心にCV製品が伸長 + 25億
- 公定価改定の影響 ▲ 28億
- Ultimaster(新DES)は順調に拡大中

<利益面>

- IS事業を中心とした原価改善効果 + 9億

ホスピタルカンパニー: 高収益品が伸び、増益確保

(億円)

	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減率	為替除く
売上高	1,239	1,225	-1%	-2%
事業利益(率)	162 (13%)	165 (13%)	+2%	+1%

<売上面>

- 国内: 上期の医療市場の環境変化の影響 ▲12億
- 薬価・公定価改定の影響 ▲7億
- Q3はDMヘルスケアとD&D(ドラッグ & デバイス)が増加 +15億

<利益面>

- ポートフォリオ・ミックスの改善

血液システムカンパニー：増収増益を確保

(億円)

	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減率	為替除く
売上高	685	727	+6%	+1%
事業利益(率)	138 (20%)	142 (20%)	+3%	+1%

<売上面>

- 中南米・アジアで全血・成分ともに伸長 +20億
- アフェシス治療が海外で二桁伸長 +17億
- 血液自動製剤システムがグローバルで二桁伸長 +11億
- 欧米：医療費削減を背景とした価格圧力の影響 ▲ 6億

<利益面>

- 売上状況に応じた収益マネジメントを実施

四半期の動き

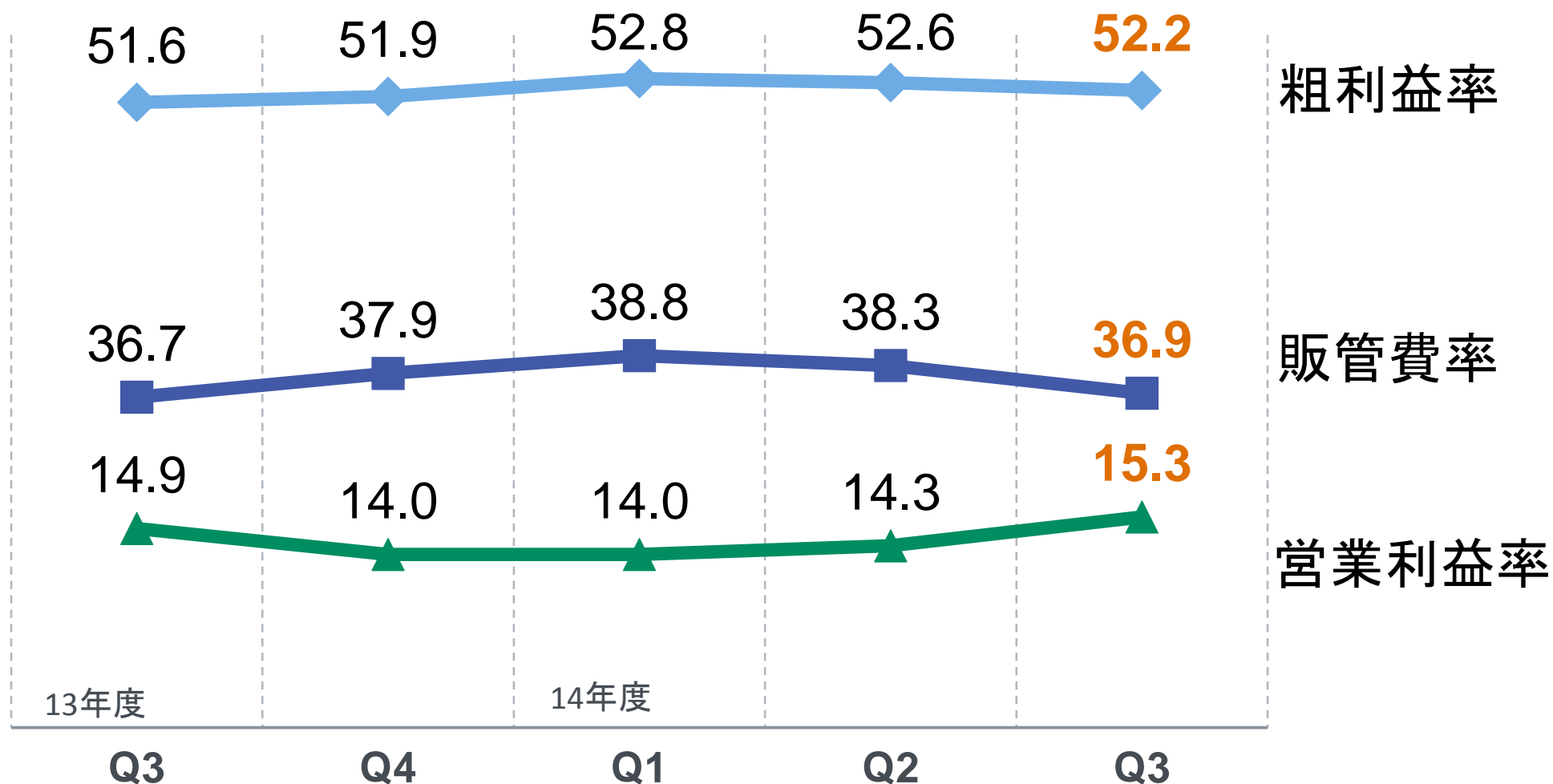
(億円)

	Q3 (10-12月)	Q4 (1-3月)	14年度 Q1 (4-6月)	Q2 (7-9月)	Q3 (10-12月)
売上高	1,192	1,221	1,149	1,184	1,299
粗利益	615(51.6%)	633(51.9%)	607 (52.8%)	623(52.6%)	678(52.2%)
販管費	437(36.7%)	463(37.9%)	446 (38.8%)	454(38.3%)	479(36.9%)
営業利益	178(14.9%)	170(14.0%)	161 (14.0%)	169(14.3%)	199(15.3%)

四半期	US\$	100円	103円	102円	104円	115円
平均レート	EUR	137円	141円	140円	138円	143円

粗利益率、販管費率、営業利益率

(%)



(各四半期の3ヶ月単位)

14年度下期 ローンチ予定の製品

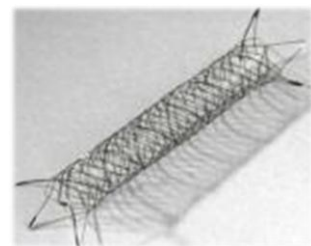
領域	製品		地域	ローンチ
心臓	新PTCAバルーン	◎	欧・南米・亜	
ペリ フェラル	PTAバルーン(膝上)		日・米	
	PTAバルーン(膝下)		欧	済み
	ステント細径化(Misago)		欧	
脳	コイルアシスト・ステント	◎	米	済み
	脳梗塞治療デバイス	◎★	欧	済み
	液体塞栓剤(脳血管)	★	欧	
輸液 システム	閉鎖式輸液システム		亜	
DM	血糖測定システム (カラー液晶)	◎	日	済み
血液 システム	成分採血装置(血漿)		日	
	血液自動製剤システム	★	日	
	血液治療装置 (顆粒球・骨髄幹細胞)		米	

◎ 業績貢献大

★ イノベーション度高



PTAバルーン・膝下
(Tercross)



コイルアシスト・ステント
(LVIS)

高耐圧、高柔軟性の2タイプ、高いデリバリー性と
操作性の高いシャフト
簡単な血管内留置



脳梗塞治療デバイス
(ERIC)



血糖測定システム
(フィットスマイル)

★独自のケージ連結型で、
効率的な血栓除去を期待
音声ガイドと、
見やすいカラー液晶

参考資料

事業別 地域別売上高と伸長率(Q3累計)

(億円)

事業 セグメント	日本	海外					合計
		計	欧州	米州	中国	アジア	
心臓血管	360 (-2%)	1,320 (6%)	488 (6%)	548 (9%)	129 (-12%)	155 (15%)	1,680 (4%)
うちカテーテル※	276 (-3%)	998 (7%)	388 (8%)	369 (13%)	121 (-12%)	119 (14%)	1,274 (5%)
ホスピタル	937 (-2%)	287 (-4%)	93 (2%)	60 (-16%)	11 (19%)	123 (-3%)	1,225 (-2%)
血液システム	92 (-5%)	635 (2%)	202 (3%)	302 (-1%)	29 (1%)	102 (10%)	727 (1%)
合計	1,389 (-2%)	2,243 (4%)	784 (5%)	909 (4%)	169 (-8%)	380 (7%)	3,632 (1%)

※ニューロバスキュラー事業含む
()内は為替影響除く対前年同期伸長率

販管費

(億円)

	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	増減	増減率
人件費	472	521	+49	+10%
販促費	106	116	+10	+9%
物流費	81	82	+1	+1%
償却費	167	184	+17	+10%
その他	254	266	+12	+5%
一般管理費計	1,080 (31.2%)	1,169 (32.1%)	+89	+8%
研究開発費	224 (6.5%)	209 (5.8%)	-15	-7%
販管費合計	1,304 (37.7%)	1,378 (37.9%)	+74	+6%

()内は対売上高%

販管費

(億円)

	13年度 Q3累計※	14年度 Q3累計	増減	増減率
一般管理費計	1,133	1,169	+36	+3%
研究開発費	231	209	-22	-10%
販管費合計	1,364	1,378	+14	+1%

※為替の影響を除いた換算値

営業外・特別損益・法人税

(億円)

億円	13年度 Q3累計	14年度 Q3累計	
営業利益	483	529	
営業外損益	+17	+58	為替差益 +81
	為替レート 米ドル ユーロ	3月末 102.9 141.7	12月末 差異 120.6 (+17.7) 146.5 (+4.8)
特別損益	+46	-64	欧ポ ^o ートフォリオ再編 -64 減損会計 -15 その他 +15
法人税等合計 法人税等負担率	-176 32%	-189 36%	FY12TBCT再編に伴う 影響がなくなった
純利益	369	334	

設備投資と研究開発費

(億円)

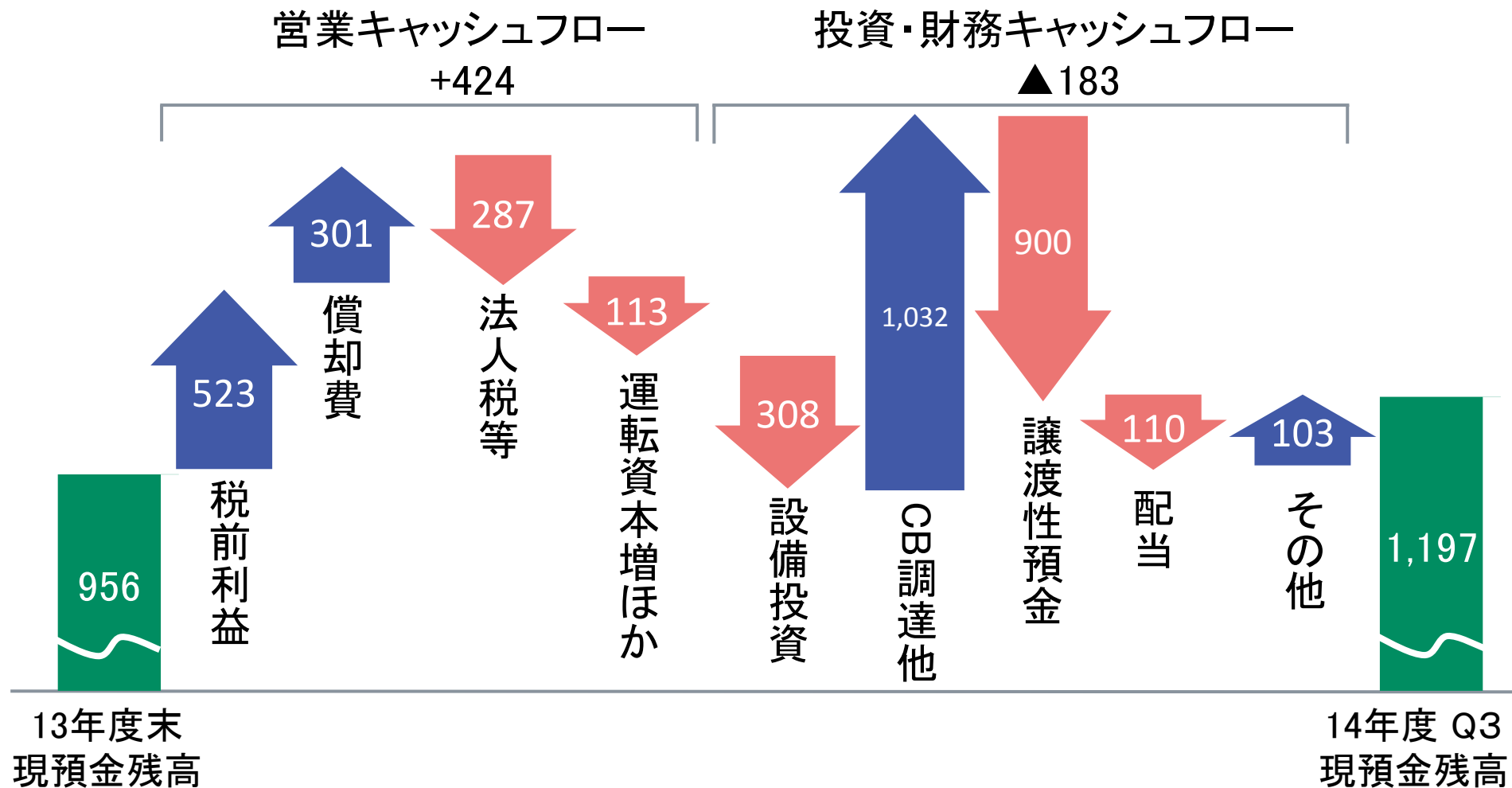
	14年度見通し	Q3累計 実績	進捗率
設備投資	420	308	73%
償却費※	410	301	73%
研究開発費	310	209	67%

※のれん・無形資産含む、設備投資は取得ベース

キャッシュフロー

- CB1,000億円調達、900億円短期資金運用
- Q1、Q3の法人税負担あるが営業キャッシュフローは順調に回復
- 2015年3月にSB400億円償還予定

(億円)

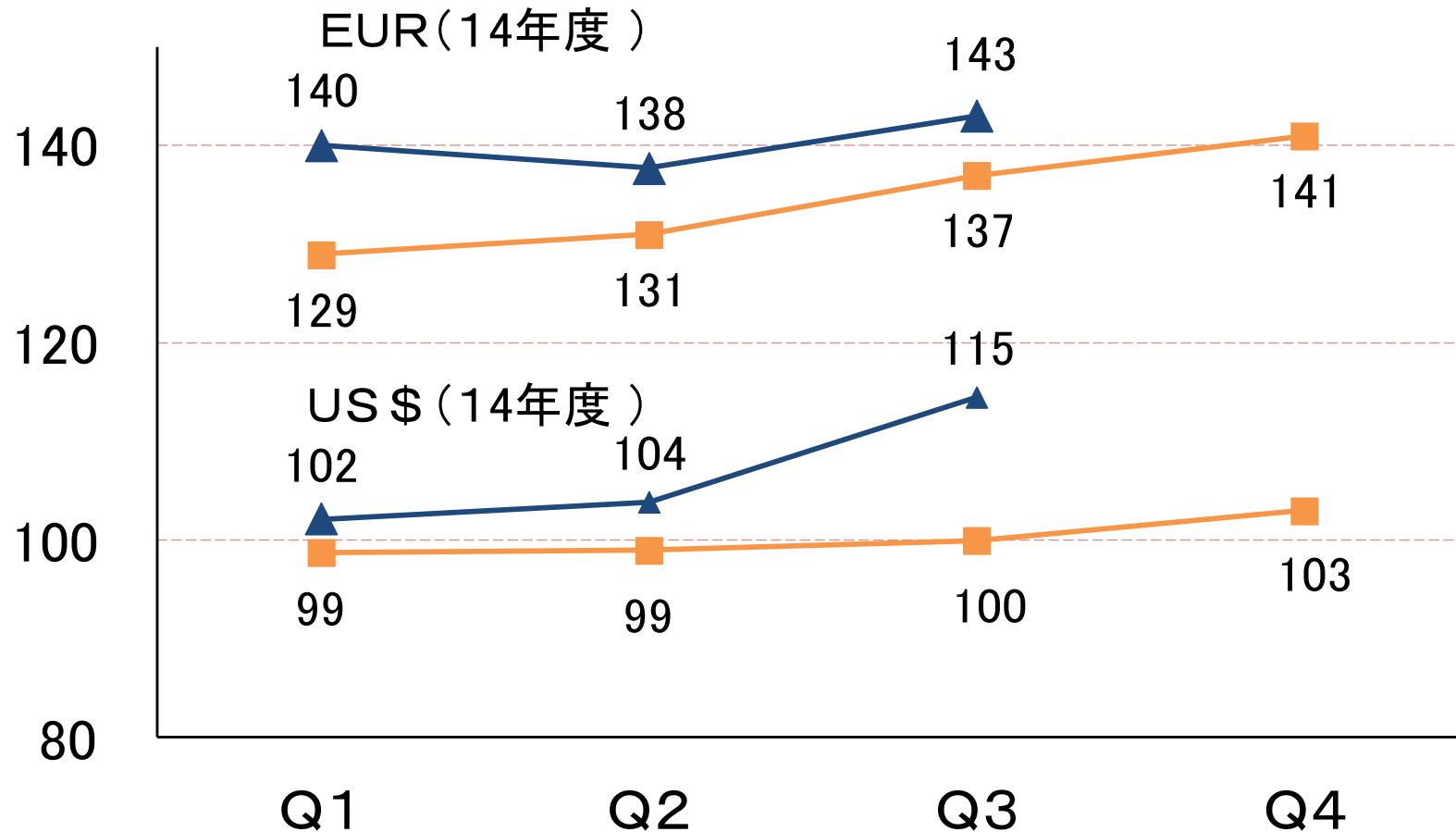


為替感応度

(億円)

	ドル	ユーロ
売上高	18	7
営業利益	3	4

四半期平均為替レートの推移



(各四半期ごとの期中平均レート)

おことわり

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。